

鉦山町の思い出の品、探しています。

相川 あいかわらばん 第33号

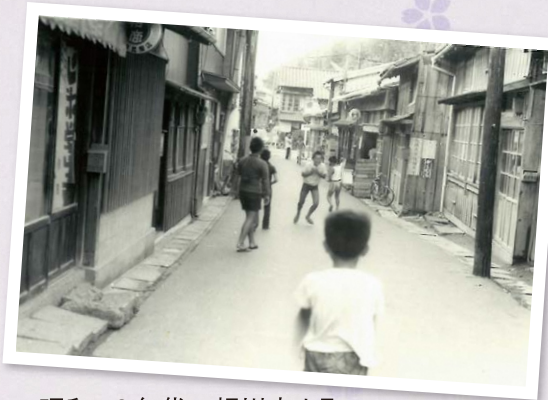
第33号

2018年6月8日発行

《編集・発行》
佐渡市産業観光部
世界遺産推進課
電話 0259-63-5136
FAX 0259-63-6130



昭和10年代 大間港



昭和40年代 相川小六町



昭和40年代 相川四町目



昭和10年代 商店街スタンプラリー

家のアルバムや物置に眠っている鉦山町の思い出、ありませんか？

皆様から寄せられた思い出の品は、現在、建設中の「佐渡金銀山ガイダンス施設(仮称)」での展示も計画しています。

にゃんじーの顔と同じ形をした鉦石にゃ。世界遺産推進課にお届けするにゃ。



思い出の品をお持ちで、市に情報をご提供いただける方は、ご連絡下さい。

窓口

佐渡市役所 産業観光部
世界遺産推進課 調査係

電話

TEL.0259-63-5136

*電話で「あいかわらばんを見た」とお伝えください。

します)

ご協力いただける場合、市が品物を確認し、資料としていただくか(お借りするか)判断します。(例:写真の場合はコピーをとってお返しします)

も、専門家にとっては貴重な物もあります。

例えば、古い写真や絵葉書(町並みや建物の様子がわかる)、かつて鉦山にお勤めの際に使用していた物など、ご自宅にありませんか？

家にある何気ない物に歴史がある場合も

る品々を探しています。

現在、そうした研究や展示会などで使用でき

その成果をご紹介しています。

佐渡市では、相川の鉦山に関係する遺跡や建物、町並みを保護するとともに、鉦山に関する調査や研究をつづけ、講演会や展示会などで、

研究資料や展示品として活用できる思い出の品を探しています

試験塗装実施中

鉾山町相川にふさわしい色は何色？

相川の景観保護を進めている佐渡市では、鉾山町にふさわしい「塗装」とは、どのようなものなのか検証しています。

現在、相川の木造家屋の多くは、外壁に塗装が施されています。色は茶系が多いですが、同じ茶系でも、塗料の種類や木材の状態によって、仕上がりは大きく変わります。

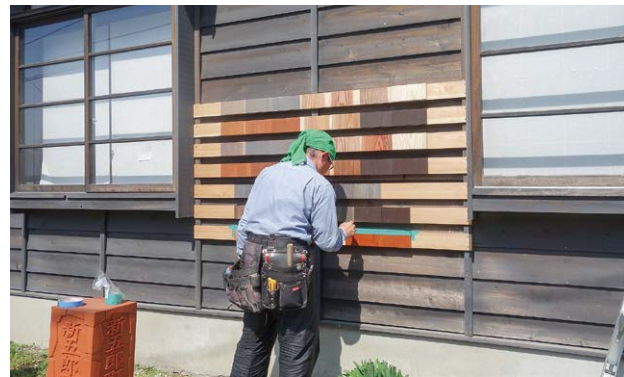
一方、鉾山町の歴史をたどると、まったく塗装していなかった時代もあります。建物のスタイルは、時代によって変わりますが、そうした時代ごとに移ろう景観をどのように伝えていけばよいのでしょうか。

そうしたことを考えるために行っている検証のひとつが「試験塗装」です。これは、気象条件の厳しい相川で、景観に調和しながら外壁の木材を保護するには、どの塗料が、どのくらい有効なのかを検証するものです。

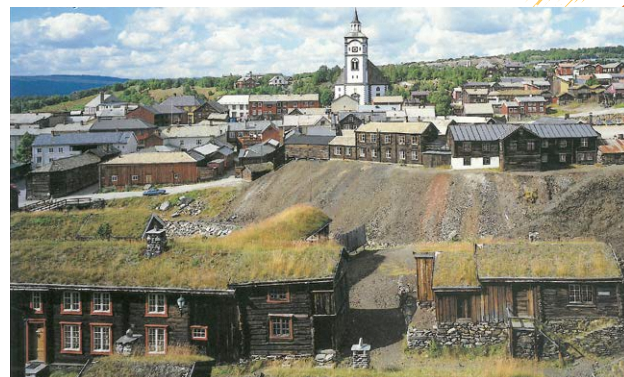
この試験は、ノルウェーの鉾山町レールコースで行っている試験塗装も参考にしています。試験は、数年かけて行い、塗料や木材の状態を観察し、今後の塗装のあり方を考えていきます。



試験塗装中の建物（左：相川坂下町、右：相川新五郎町）試験塗装を効果的に行うために、方角や立地をふまえて、2件の建物を選定しました。



試験塗装用のパネル 板の厚みや劣化度合いなど、状態が異なる木材に、数種類の塗料を塗装して比較します。この試験では、木材の風合いが活かされる透明な保護塗料が、相川の建物に実用できるかどうかを試しています。



試験塗装の参考にしたノルウェーの鉾山町レールコース ヨーロッパでは珍しい、木造家屋が多い鉾山町です。木造家屋を保存するための取組みが盛んです。

開催報告 まちあるきマップおひろめ展

相川の「まちあるきマップ」の完成を記念して、今年3月の「佐渡國相川ひなまつり」の期間中に、マップに掲載している版画とイラストの原画展を開催しました。会場となった「佐州おくやり館」（相川羽田町）では、原画の展示とともに、出来立てほやほやのマップも披露し、来場された方々にお配りしました。お越しいただいた皆様、ありがとうございます。

まちあるきマップは、相川地区を中心に、観光施設などで引き続きお配りしています。



にゃんじースタンプラリーも無事終わりました。
ありがとうございました！

まつばえ 松榮家住宅 重要文化財（国指定）の答申



今年5月18日、鉾山町相川を代表する歴史的建造物「松榮家住宅」について、重要文化財に指定することの答申が、国の文化審議会（文化財の指定等を審議する会議）から文部科学大臣に出されました。この後、官報告示を経て、正式に指定される予定です。松榮家は、鉾山や回船で繁栄した豪商で、指定される建物（主屋、オモ蔵、新蔵）は、いずれも明治44年に建築されました。主屋は、重厚な軸部や広大な吹抜など雄大で、鞘に覆われた土蔵を含め、佐渡における町家建築の発展を示す建物として、価値が認められました。

皆様へお願い 個人住宅であり、内部は公開していません。敷地内への立入りもご遠慮ください。

こうした歴史的建造物はそこで生活されている方がいることで維持されています。住民へのご配慮をお願いいたします。

相川の今昔

かぶせ
鹿伏の農地

相川の市街地から少し外れた鹿伏の段丘上には、田畑が一面に広がっています。この段丘の上部にある水田は、元和2年（1616）に越前から相川へ来た岩倉家が、奉行所の許可を得て開墾したものです。段丘上にある農地は、鉾山の町場（上町や下町）への米や野菜の供給地として、重要な役割を担っていました。



鹿伏

道遊の割戸

明治～大正期の相川



現在の鹿伏



文化財関連イベントのお知らせ

今年3月、「蔵王遺跡」の出土品が県有形文化財に指定されたことを記念して、講演会と特別展を開催します！

イベント	日時	会場	備考
蔵王遺跡 講演会	7月1日(日) 10:00～16:00 (受付9:30～)	トキのむら元気館 (佐渡市新穂瓜生屋362-1)	参加無料・申込不要・定員200名 新潟大学人文学部教授 橋本博文氏のほか、文化庁・国立奈良文化財研究所・新潟県・佐渡市の担当者が、蔵王遺跡に関する講演をそれぞれテーマ別に行います。
蔵王遺跡展	6月2日(土)～7月8日(日) 8:30～17:00 ※入館16:30まで ※毎週月曜休館	新穂歴史民俗資料館 (佐渡市新穂瓜生屋492)	観覧無料（蔵王遺跡展コーナーのみ） 県の文化財に指定された出土品を中心に展示しています。 6月23日(土)14:00～14:50には、専門職員による展示解説会もあります。

蔵王遺跡とは？ 新穂地区にある弥生時代後期～古墳時代前期の遺跡。県内では他に例のない建物の基礎構造物や、有力者が使用していた銅鏡などが出土している。

問い合わせ先 佐渡市産業観光部世界遺産推進課 電話：0259-55-3990（埋蔵文化財整理室内）

今月のにゃんじー

「なかよく雨やどり」

6月のある日の相川。

雨のおかげで、新しい友達がにゃんじーにできたようです。



第34号

7月25日刊行予定